

<補足>

補足 1  $f'(\alpha) < 0 (\alpha > 1)$  の証明

$$f'(\alpha) = 2 \frac{2 \ln \alpha - \alpha + \frac{1}{\alpha}}{(\alpha + 1)^2 (\ln \alpha)^2}$$

の分子に着目し、

$$g(\alpha) = 2 \ln \alpha - \alpha + \frac{1}{\alpha}$$

とおくと

$$g'(\alpha) = \frac{2}{\alpha} - 1 - \frac{1}{\alpha^2} = -\frac{(\alpha - 1)^2}{\alpha^3} < 0$$

$$g''(\alpha) = -\frac{2}{\alpha^2} + \frac{2}{\alpha^3} = 2 \frac{(1 - \alpha)}{\alpha^3} < 0$$

これより  $g(\alpha)$  は単調減少することが分かる。

また、 $g(1) = 0$  であるから、 $g(\alpha) = 0$  となるような、つまり  $f'(\alpha) = 0$  となるような  $\alpha$  を持たないことになる。つまり  $\alpha > 1$  において  $f(\alpha)$  は極値を持たない。